

教科・科目	英語会話	単位数	2単位	学年・学級	3年Ⅱ群
使用教科書	SELECT English Conversation	副教材	なし		

学校教育目標	郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を持ち続けよう					
育成を目指す資質・能力	傾聴力	○	協働力		議論する力	
	自省力	○	理解力	◎	批判力	
	自己実現力	○	表現力	◎	情報活用力	
学習の到達目標	・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・身近な話題について、情報や自分の意見などを英語で表現する能力を養う。 ・文化の違いを理解し、表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ・英語での表現方法や文法事項、構文などについて学び、状況や場面を把握し使用する。					

評価の観点

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
A 使える	間違ふことを恐れず、積極的に英語で話すことができる。また、相槌を打ちながら話を聴いたり、ジェスチャーなどを使って話したりして、最大限コミュニケーションを図ろうとしている。	場面や状況に応じた会話を正確に行うことができた。状況に応じて適切にイントネーションを使い分けたりすることができる。	聞かれたことを正しく理解したり、それに対して素早く適切に、必要なことを相手に伝えたりすることができる。	既習の表現を適切に使い分け、工夫して話すことができる。また、文化の違いを理解し、状況に応じた会話を行うことができる。
B わかる	積極的に英語で話すことができる。また、相槌を打ちながら話を聴いたり、ジェスチャーなどを使って話したりして、コミュニケーションを図ろうとしている。	場面や状況に応じた会話をを行うことができた。状況に応じてイントネーションを使い分けたりすることができる。	聞かれたことを理解したり、それに対して適切に、必要なことを相手に伝えたりすることができる。	既習の表現を適切に使い、工夫して話すことができる。また、文化の違いを理解し、会話を行うことができる。
C できる	英語で話すことができる。また、話を聴いたり、話したりして、コミュニケーションを図ろうとしている。	場面や状況に応じた会話を正確に行うことができる。	聞かれたことを理解したり、それに対して必要なことを相手に伝えたりすることができる。	既習の表現を使い、話すことができる。また、文化の違いを理解することができる。
D	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。
具体的改善策	・授業において英語を使って意欲的に発言したり、書いたりする。 ・自分の学習を振り返り、次の目標を立てて取り組む姿が見られる。	・レッスンの軸になるキーセンテンスを確実に使えるようにする。 ・口頭試問における得点UP	・口頭試問における得点UP ・表現活動における得点UP	・口頭試問における得点UP ・表現活動における得点UP
評価基準	関心・意欲・態度 (20点) A: 15点 ～ 20点 B: 8点 ～ 14点 C: 1点 ～ 7点	思考・判断・表現 (30点) A: 21点 ～ 30点 B: 11点 ～ 20点 C: 1点 ～ 10点	技能 (30点) A: 21点 ～ 30点 B: 11点 ～ 20点 C: 1点 ～ 10点	知識・理解 (20点) A: 15点 ～ 20点 B: 8点 ～ 14点 C: 1点 ～ 7点
	何で評価するか ・表現活動 ・ワークシート ・単元毎の振り返り	何で評価するか ・ロールプレイ ・口頭試問	何で評価するか ・口頭試問	何で評価するか ・パフォーマンス課題（ライティング、リスニング、発表）

【学習計画】

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	Lesson 1	📌前期の目標		
		・自己紹介で自分のことについて話すことができる。【①④:PW、Pre】		
		・未来表現や不定詞の名詞的用法を使って、自分の興味のあることについて話すことができる。【②④:PW】		
5	Lesson2	・現在形や過去形を使って、自分の自由時間について話すことができる。【②④:PW】		
6	Lesson3	・助動詞 should を使って、相手の体調について話したり、それについてのアドバイスをしたりすることができる。【③④:PW、GW】		
		第1回パフォーマンステスト【①～④：プレゼン or 面接形式】		
		📌振り返り		
7	Lesson4	・There is/There are～を使って、学校や教室にあるものについて話すことができる。【②④:PW】		
8	Lesson5	・助動詞 will を使って、天気について話すことができる。【②③④:Pre】		
	Lesson6	・動名詞を使って、自分の好きなことについて話すことができる。【②④:PW】		
9		第2回パフォーマンステスト【①～④：プレゼン or 面接形式】		
		📌振り返り		
10	Lesson7	📌後期の目標		
		・現在完了形を使って、相手の都合について尋ねたり、待ち合わせをしたりすることができる。【③④:PW】		
		・電話をする時の特有の表現を使って、会話をするすることができる。【③④:PW】		
		・SVOO の文型に気をつけながら、道を尋ねることができる。【②③④:PW】		
11	Lesson8	・How long～?などの表現を使って、目的地までの乗り物での行き方を尋ねることができる。【③④:PW】		
	Lesson9	・現在進行形を使い、店員役と客役になりきって、欲しいものを買うための会話をするすることができる。【②③④:PW】		
	Lesson10	・SVC の文型に注意しながら会話することができる。【④:WS、PW】		
		第3回パフォーマンステスト【①～④：プレゼン or 面接形式】		
		📌振り返り		
12	Lesson11	・不定詞の形容詞的用法を使って、食事注文することができる。【③④:PW】		
1	Lesson12	・Let's～や Shall we～?などの表現を使って、友達を誘ったり、友達からの誘いに応じたりすることができる。【②③④:PW、GW】		
	Lesson13	・将来の目標や就きたい職業について、理由と併せて話すことができる。【②③④:Pre】		
		・不定詞の副詞的用法を用いて話すことができる。【④:WS、Pre】		
		第4回パフォーマンステスト【①～④：プレゼン or 面接形式】		
		📌振り返り		

📌最終評価（自己評価／実際評価）

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解